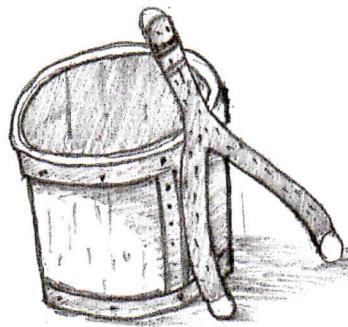


ものがたり

第二百九十五話

市地番号-4-3
有 前田屋
(0248) 29-3790
令和5年3月施行



みはさん、こんにちは。
春まづから。暖かくすみました。花粉もまづあります。今年の花粉は
ひがひがチ強い。二月後半、さうかう葉を飲み出でます。が、蒸氣
が上昇するにつれ、蒸しくなつて来ました。五月に旬過ぎてがてら
先日暖い日に湯くさい臭いがてて田んばがかわいて来たらひがし
田んぼでウアタウニチララ。畔めりしが始まります。

前田屋の方、今畔めりで機械でやるが、と近所の寿し屋
さんの女将さん。「そらだー、そら。昔からこに鍛冶おみらい三
じとらね、トランクで来た。あ、こう(田んぼ)のつーち畔に
ひがひがしてえ、そつせば、畔めりじゃなくて、畔打ただらるわー。
ううう。畔めり後、豆を植えなよー。」
「ええ、前田屋さん、畔豆。自分で豆を
知るよろしく、子供のよー。
ねぢらんの子供が力で豆を
まわして、かどん後をついて弁を
右手に持つてザクッと差して
豆を2~3粒、ガロドロと入めて
足でふんごとにその後ひく。雑米
をまわして、かどん後をついて弁を

さうな記憶あります。
ミツガラ、畔豆! 今の若狭人に畔豆で
言ひだす。新しい品種がまだつて!
豆を落とす時もタルの中を下さり、もし3,000粒もしくは
に分かれ隣が下さりて、一斗升で計りて、豆を大事に
収穫して、みそを仕込んでざりして下りねー。
良く知るよ。

風土

が人と酒を肴目み

酒は人をつなく

香りもとり、農業が忙しくなります。者はみんな「人の手」が
作業をしておいた。今は機械で作業も樂れてくれてます。ド
ボツン一人で機械を運転する姿は、これがどうです。
コロナもちらついて来ます。今年は親戚、家族でじきやド
田植えはいい。02-1500。

久保田五本セツト

300ml×6本

今年も「久保田五年マット」が越冬しました。萬寿、碧弄、紅
千寿、百寿のめくらベックル5本で販売します。自分で作りた祭事
や贈答用など大好評です。無くなり次第終了となります。
万葉の「雪幻をあすすり」と云うす。五月二十日発売

鶴齶

ヴァンティージ2017

純米大吟醸雪室熟成

13,200円

二十七年の創業三十周年を記念し、雪室での長期熟成酒。
山田錦を30%精米の純米大吟醸を貯蔵の雪室で6年貯蔵。
鶴齶雪室ヴァンティージ2017と銘記発売無くなり次第終了
です。御注文をいたゞりながらの発注による場合がござります。
ご予約をお願いします。

前田屋

7,260円